

取り組み内容 タイトル

地域計画における「目標地図」の作成に向けた担い手の意向調査

令和5年 2月

市町名 上三川町

【市町・地域の概要】

- ・上三川町は、総面積 54.39 km²の、ほぼ平坦な地形で構成され、町内を3つの河川が縦断し、豊かな水と大地に恵まれている。
- ・農業分野においては、水稻と麦を主たる作物として生産し、農地利用集積率が56.4%、遊休農地面積が全体の0.03%であり、認定農業者約200人が町の農業経営を担っている。

【取組前の状況・課題等】

- ・前回の意向調査から5年経過しており、新たに再調査する必要がある。
- ・「目標地図」の作成にあたり、一筆ごとの意向を確認するため、これまでの調査の内容を見直し、回答しやすい調査書の作成に努めることが重要であった。

【取組内容】

- ・農業委員会と町農政課は、「目標地図」作成の基礎資料収集のため、担い手への意向調査を共同で実施した。
- ・調査対象は、30a以上を経営する担い手で約1,200世帯へ意向調査書を配布した。
- ・農業委員及び農地利用最適化推進委員は、未回答世帯への訪問・回収を担い、「目標地図」作成に向けた担い手の意向把握に努めた。
- ・その結果、回収率は97%となり、これは町内の農地の96%の経営意向を把握できたことになる。「目標地図」作成に向けて、十分な意向把握が出来た。



【今後の展開と方向】

- ・意向調査の結果を踏まえ、地元話合いのベースとなる「目標地図（原案）」を作成する。
- ・「目標地図（原案）」を基に地域の話合いを活性化させ、書面による意向調査だけでは汲み取れない意向を反映した「目標地図（素案）」の作成を進める。